



みどりのたより

496 令和8年7月号

横浜市立今宿南小学校

みんなが かがやく イマミっ子
～明るく かしこく たくましく～

2026. 6. 30

「生きる力」

校長 伴 英子

先日の、台風 6 号による休校並びに、引き取り訓練に際しましては、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後も気象状況によって、皆様にご協力いただくことが多くあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、一年の半分が終わり、暦の上では後半期に入ります。学校は、まだ 1/4 が終わったところ、子どもたちは、夏休みを楽しみにしているでしょうか。

学校では、子どもたちに「生きる力」を培うために、日々工夫しながら教育活動に取り組んでいます。

「生きる力」とは、为什么呢？

我々が子どもの頃、不便だったこと、効率が悪かったこと、そのせいで健康を損ねたりすることがたくさんありました。先人の知恵や発想で、それらのことが多く解決され、以前では想像も出来なかった便利さや快適さが瞬時に手に入るようになりました。子どもたちは、それらの便利さを当然のように享受し、さらに快適さを要望します。何かのきっかけで、それらの便利さが失われたら、子どもたちはどうするのだろう、と不安になります。もちろん、そのような事態にならないように、もしなっただとしても、最善の方法を考え、大人は力を合わせて子どもたちを守りたいと思います。

そうした時に、子どもたちにもっていて欲しい力は、諦めない力、へこたれない力、自分で考えて創造する力だと考えます。大人に言われたから、やる、やらないではなく、自分で考え、今何が必要か、何をすべきか、を考える力です。

今していることはなぜするのか、してはいけないと言われたことはなぜいけないのか、一つ一つの出来事に自分の考えをもって取り組むことを大切にしてほしいと考えます。そうした考えの中から、今自分にできることを見出すことができるはずですが、これができない、あれもできないとあきらめてしまう前に、こうしたらできるかもしれないと考えてほしいです。できなかったからもう駄目だ、ではなく、次こそは自分が納得いく取り組みをしよう、と前向きにとらえる力を身につけてほしいと思います。

そのために、大人である私たちがすべきことは、子どもの可能性を信じ、よさを認めながら、ともに進む包容力をもつこと、枠に閉じ込めない豊かな発想力を育むことであると思います。

もうすぐ夏休み、ご家庭で過ごす長い期間となりますが、子どもたちがたくさんの経験をし、「生きる力」につなげることを願っております。

【ワンポイント手話】

力・能力

左手を握って
腕を折り曲げたら、
左の二の腕に右手人差し指で
力こぶを描きます。

